

5. 共催・協力事業

ボランティア・NPO 活動センターには、さまざまな地域団体や行政などから事業への協力依頼があります。センター内でどのように関わっていくのかを検討し、多くの場合、学生スタッフやコーディネーターが協働でそれらの依頼に対応しています。

事業名	NGO スタディツアー合同説明会
日時	夏季ツアー説明会：2019年6月15日（土）13時30分～17時00分 冬季・春季ツアー説明会：2019年11月30日（土）13時30分～17時00分
場所	夏季説明会：龍谷大学大阪梅田キャンパス 研修室 冬季・春季説明会：龍谷大学大阪梅田キャンパス 研修室
実施主体（共催）	特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会、株式会社 マイチケット 龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
参加人数	夏季84名／冬季・春季40名

1. 経緯・目的

スタディツアーは、主に途上国で NGO が活動する現場を視察し、ボランティア活動などを行うツアーのことで、体験学習や現地の人々との相互理解を目的としています。一般のツアーとの最も大きな違いは、旅を通して「学ぶ」ことです。さらに、体験プログラムやホームステイなど現地の人々と直接交流する機会が設けられており、社会課題に触れることができることが魅力の一つです。センターには学生から「海外でのボランティアに関心がある」「長期休暇中にスタディツアーに参加してみたい」「どんなスタディツアーがあるのか知りたい」という相談が多くあります。そこで、センターの提携団体である（特活）関西 NGO 協議会と、海外体験学習プログラムで各種手配に携わっている（株）マイチケットとの共催で、スタディツアーを企画している NGO を集めて合同説明会を2009年度より年2回開催しています。

2. 概要

(1) 13：45～14：00

「スタディツアーって何？あなたにぴったりのスタディツアーって？」

スタディツアーの概要についてマイチケットスタッフより説明していただきました。

(2) 14：00～16：30

「各ブースで説明を聞こう！」

参加 NGO（別表）が会場内にブースを設け、それぞれの企画するスタディツアーについて説

明し、参加者は関心のある団体のブースを訪問し、団体の取り組みやツアー内容などを個別に質問していました。出展団体以外のチラシや団体パンフレット等も設置し、参加者が手に取って比較・検討できるようにしました。

(3) 16：30～17：00 プレゼント抽選会

出展団体のオリジナル商品や、旅行券が当たる抽選会が実施されました。

	ブース出展団体
6月	・ ICYE ジャパン（インドネシア） ・ アクション（フィリピン） ・ アクセス－共生社会をめざす地球市民の会（フィリピン） ・ ウータン・森と生活を考える会（インドネシア） ・ CFF ジャパン（フィリピン・マレーシア） ・ ACE（インド） ・ ツナミクラフト（タイ） ・ PHD 協会（ネパール・ミャンマー） ・ 緑の地球ネットワーク GEN（中国） ・ ジュレーラダック（インド） ・ アジアキリスト教教育基金 ACEF（エクアドル） ・ マイチケット ・ 関西 NGO 協議会（NGO 相談員） 計13団体

11月	・ ICYE ジャパン (インドネシア) ・ アクション (フィリピン) ・ アクセスー共生社会をめざす地球市民の会 (フィリピン) ・ ウータン・森と生活を考える会 (インドネシア) ・ CFF ジャパン (フィリピン・ミャンマー・マレーシア) ・ アーシャ＝アジアの農民と歩む会 (インド) ・ WE ジャパン (フィリピン) ・ ツナミクラフト (タイ) ・ PHD 協会 (ネパール・ミャンマー) ・ 緑の地球ネットワーク GEN (中国) ・ 環境保全ネットワーク京都 (台湾) ・ マイチケット ・ 関西 NGO 協議会 (NGO 相談員)
	計13団体

間に多くのことを体験し、考え、そして帰国後も問題意識を持って学生生活を送っています。日本国内ではできないような経験を通して視野を広げ、世界の問題から、日本の社会問題へと視線を広げていくようになります。海外に行くことにハードルを感じる学生も多いですが、この説明会でツアー引率者や参加経験のある学生から直接、生の声をきくことで、スタディツアーに関心をもつきっかけとなるように、今後も多くの学生にこの説明会を広報していきたいと思っています。

〈報告者：上手 礼子

(瀬田キャンパス コーディネーター)〉



3. 参加者の声・得られた効果など

- ・ 海外で活動している人や、スタディツアーに参加している学生の話が聞けて、意欲が高まった。
- ・ 直接団体の方や、過去に参加した学生の話が聞けてよかった。不安が解消された。
- ・ いろいろなブースを一度に回ることができ、1日でいろいろなツアーの話しができるのがとても良い。
- ・ 今までに説明会を利用して2つのツアーに参加しています。
- ・ 金額も高く時間もないので、今まで無理だと思っていたが、まずは一度話だけでもと思って行動してみた。想像以上に楽しかった。来てよかった。
- ・ スタディツアーでなければ経験できないことがたくさんあるのだとわかった。
- ・ 現地でのコミュニケーションや、言葉の不安が解消されて、行ってみようと思った。



4. コーディネーター所感

ツアーに参加した学生は1週間ほどの短い期



その他報告

センターでは、これまで報告してきた事業以外にも、提携団体や地域団体からの呼びかけに基づき、以下の学内外の取り組みに参加しました。

■セーフトラベルセミナー

NGO や大学などを対象に、海外スタディツアーを実施する際の注意点などを学ぶセミナーを実施し、当センターを含む11団体計18名の参加がありました。

開催日：2019年4月18日（木）

場 所：キャンパスプラザ京都6階 龍谷大学サテライト教室

内 容：第一部【基礎編】感染症、旅行保険、旅行業法の基礎知識についてのレクチャー

第二部【事例報告】事故、感染症、食など、具体的な場面でどのような対応がなされたかの事例共有

共催団体：（特活）関西 NGO 協議会、(株)マイチケット

■大津市総合防災訓練

大津市社会福祉協議会からの呼びかけで、学生4名、コーディネーター1名が参加しました。

開催日：2019年9月15日（日）

場 所：大津市立藤尾小学校

内 容：災害ボランティアセンター開設・運営訓練、避難所運営訓練の災害用仮設トイレ設置、段ボールベッド組み立ての訓練など

主 催：大津市 危機・防災対策課



■第16回親子でふれあう秋まつり

親子でふれあう秋まつり実行委員会からの呼びかけで、学生9名が参加しました。

参加日：2019年9月15日（日）

※このイベントは14日（土）・15日（日）の2日間開催

場 所：ヌヴェール愛徳修道会（京都市伏見区内）

内 容：やきそば、かき氷などの模擬店や、ヨーヨー釣りなど遊びブースの手伝い

主 催：親子でふれあう秋まつり実行委員会

■深草・稲荷学区合同 令和元年度 総合防災訓練

深草学区自主防災会からの呼びかけで、学生9名が参加しました。

開催日：2019年11月17日（日）

場 所：京都工学院高校 体育館及び周辺区域

内 容：避難所運営（災害情報提供や安否確認の掲示や案内など）、車椅子介助デモンストレーション、グッズ（新聞紙スリッパ、ツナ缶の照明）作り、非常食配給訓練 など

主 催：稲荷学区・深草学区 自主防災会